

くりやま議 会 だより

No. 183

令和7年
5月1日
発行



株式会社 エフエムくりやま

パーソナリティ 丸山 秀子 さん

Topic 01 ...P2

予算審査特別委員会

Topic 02 ...P10

3人の議員が一般質問

Topic 03 ...P18

議会報告会

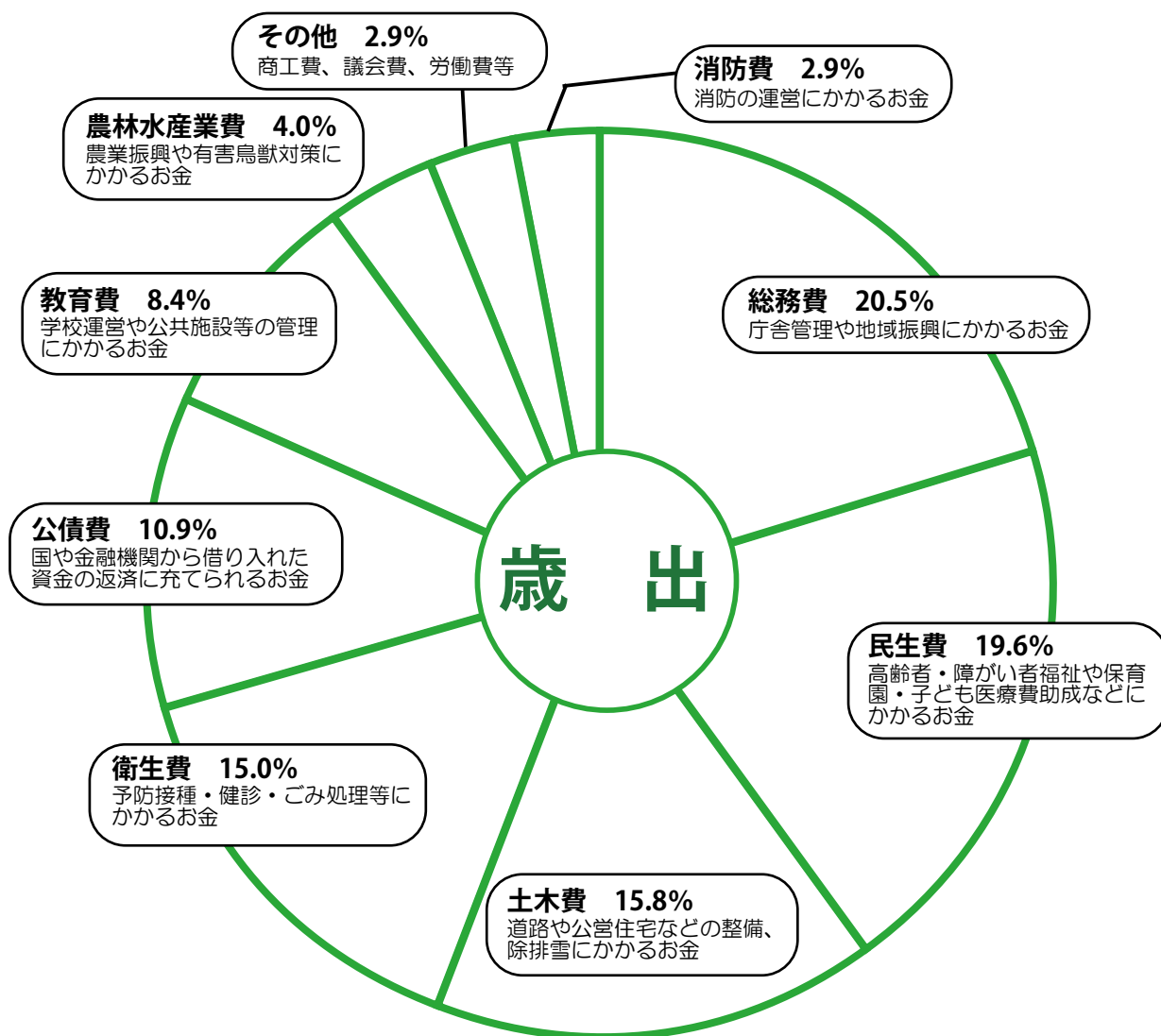


栗山町議会 HP

548万円

(前年比 △9,101万6千円 : △0.5%)

「ふるさと栗山」を 次なるステージへ



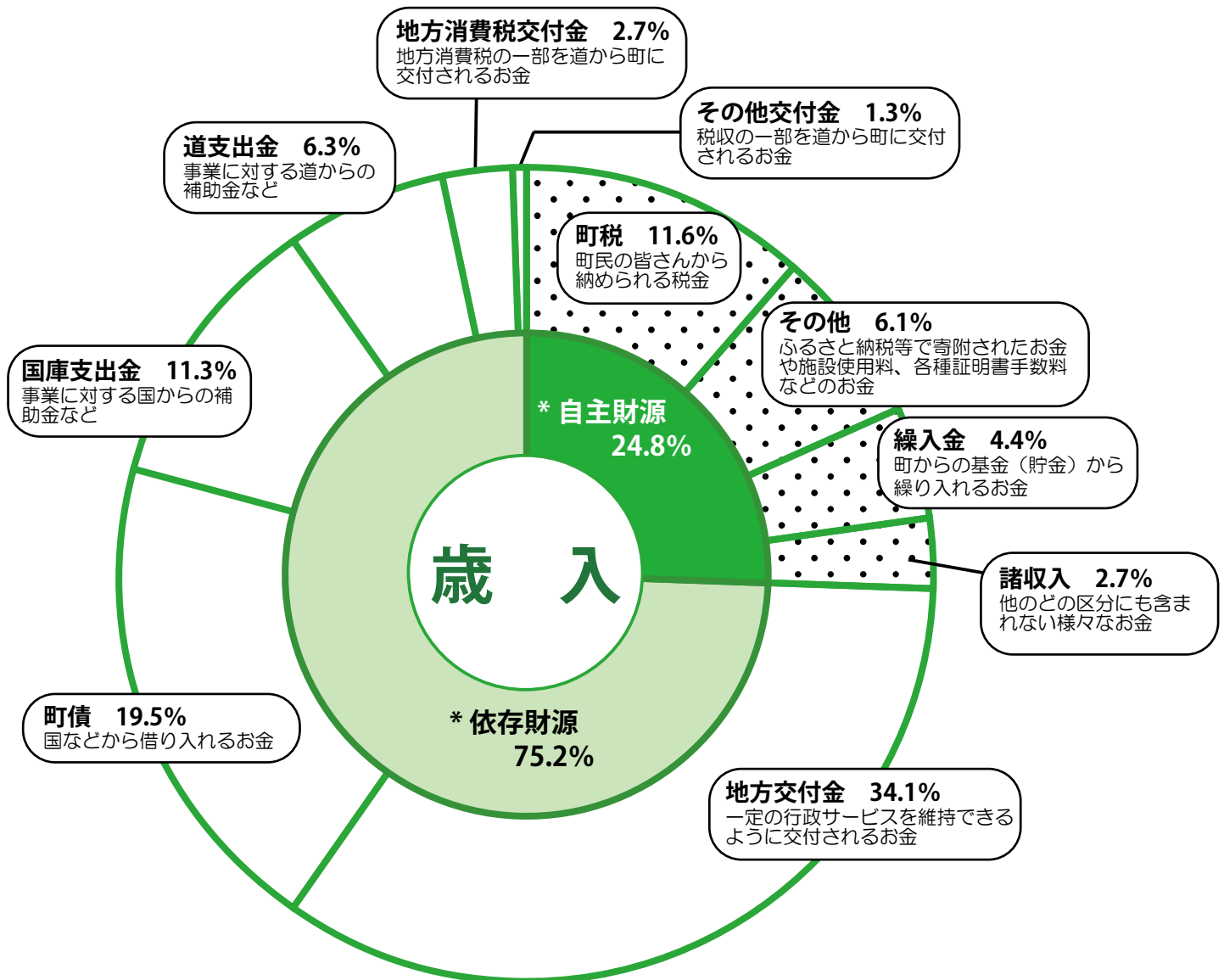
一般会計 113 億 9,000 万円 (△ 7,200 万円 : △ 0.6%)

特別会計 31 億 7,337 万円 (△ 9,842 万円 : △ 3.0%)

事業会計 19 億 4,211 万円 (7,940 万円 : 4.3%)

令和7年度予算可決 165億

令和6年3月定例会議において、令和7年度各会計歳入歳出予算が提案されました。これに伴い、各会計予算審査特別委員会を設置し、特別委員会に付託して審査することを決め、3月14日、17日、18日の3日間の集中審議ののち、本会議において採決を行った結果、**9つすべての会計を可決**しました。



解説

* 自主財源とは

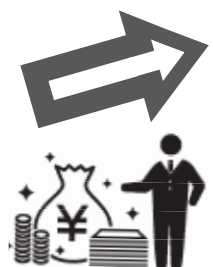
自治体が独自に確保できる財源。
町税、使用料、手数料、寄附金など。

* 依存財源とは

自治体が自由に使えるお金（一般財源）のうち、
国や道から交付されるお金のこと。

依存財源 *

昨年と比べて…
上昇



の使い道

令和7年度の主要事業をピックアップ
してお知らせします。

詳しい予算状況については、冊子「知っておきたい！まちの予算」をご覧ください。町ホームページに掲載されています。

町 HP 予算概要 QR



Ⅳ．産業

継続

中山間地域等直接支払交付金
1億1,927万円

新規

商店街地域カード電子化支援
事業補助金
528万6千円



Ⅴ．都市基盤

継続

町道除雪業務委託
1億1,131万4千円

継続

水道老朽管更新工事
1億2,765万円



Ⅵ．地域経営

継続

ふるさと応援寄附業務委託
1,936万9千円

継続

行政情報等ラジオ番組制作・
放送業務委託
1,606万7千円





に注目！！「みんなのお金」

I . 生活環境

新規

公共施設等の空調設備の整備
9,196万8千円

新規

自転車乗車用ヘルメット
購入費補助金
140万円



II . 教育

新規

I C T 支援員配置
560万円

継続

小・中学校への外国語指導助手
(A L T) 配置
1,103万6千円



III . 医療・保健・福祉

継続

救急医療体制等確保補助金
2億1,377万7千円

継続

子ども医療費助成
3,316万2千円



自転車用ヘルメット 購入補助

大櫛委員 自転車用ヘルメットの購入補助は1回限りということだが、子ども達は成長して頭の大きさも変わっていく。安全性を重視するのであれば、回数をもう少し増やしては。

環境政策課長 この制度については、まだまだヘルメットの着用率が低いというところで、一定程度支援をした中でヘルメットの着用率をあげて事故発生の軽減を図っていくことを目的としている。多くの人にヘルメットを着用してもらいたい。

お墓に関する アンケート結果

佐藤委員 お墓に関するアンケートの結果について、8割の人が合葬墓が必要と回答したとのことだが、詳細を教えてください。

環境政策課長 8割の方が合葬墓を必要と答えているが、合葬墓の使用については「わからない」という回答が5割、予定がないという回答は3割4割となっている。すぐに合葬墓の整備に向けて対応するということについては、検討の余地があるということで、今回は継続協議とし、引き続き情報収集をしていく。アンケートの中で意見が出ていた家族構成や宗教の関係なども整理する必要があると考えている。

きになる!!

★ 予算審査特別委員会の中で、議員が「きになる!」と質疑をしたものについて抜粋して紹介します。すべての質疑については、議会HPで録画配信を行っておりますので、そちらをご覧ください。



老朽化がすすむ介護福祉学校校舎

介護福祉学校 改修調査見送り

齊藤義崇委員 介護福祉学校の改修調査実施設計を見送ったことについて、調査についての予算だけでもつけるべきだったのでは。介護医療の施設で事故が起こることというのは大変なこと。

介護福祉学校事務局長 学校については、外側は傷んでいるところもあるが、内側は塗り替え等も行い、学生達もきれいに使用してくれているので激しい傷みはなく、安全な環境の中で学習できている。

資材高騰等もあり、実際に改修工事を行うと2億円後半位は必要とのこと、町全体の投資ということを踏まえて、今年度は一旦見送って、後年度にまた検討してはどうかという判断になった。

ファブラボ栗山 委託料

齊藤隆浩委員 ファブラボ栗山の委託料が増えている要因は。

ブランド推進課長 委託料増の要因は、ファブラボ栗山を運営するジモトファブへの業務委託の人員費の増によるもの。どの事業もそうだが、人件費がだいたい15〜20%弱増えている。また、新たにファブラボの栗山町内外へのPRや、様々な方に使っていただくための事業展開をお願いしたということ、委託料を増額している。



**社会福祉法人等
低所得利用者負担軽減事業**

重山委員 社会福祉法人

等低所得利用者負担軽減事業について、必要な人がきちんとこのような施設に待つことなく入ることができているのか。

**道央廃棄物処理組合
負担金**

藤本委員 昨年と比較して、道央廃棄物処理組合負担金が減っている。組合議会で決まったこととは思いますが、負担金が減った要因は。

環境政策課長 4月から千歳市にある焼却施設が稼働し始め、7月には外構工事が終わったことにより、その経費分がなくなったこと。また、ごみを焼却した際の熱で発電し、施設内での使用と余剰電力は売電されているが、今年度は売電の実績が大きかったため、負担金が減った。

福祉課長 予算編成にあたっては、漏れのないように施設と連携している。もちろん空き状況も関係してくるが、以前のような多数待機者はいない。必ず今年度入所できるということではないが、ある程度はスムーズに流れている。



余剰電力を売電している道央廃棄物処理組合焼却施設

令和7年度予算 ココが



令和7年度予算審査
録画配信 QR

義務教育通学費

堀委員 錦地区からの通学の実情として、アンダーパスや跨線橋を渡るしかない。保護者の負担を考えた時に、バス代が相当かかっていると思われるので、通学補助を行うべきでは。

学校経営改善室長 小学校の統廃合を進めるにあたって、スクールバスの運行についても見直しを行うことになるが、今の時点では現行ルールでの運行とする。今後の学校の在り方も含めて検討する。



討論

一般会計予算

国民健康保険特別会計予算
後期高齢者医療特別会計予算

反対

重山委員 保険料は令和4年、5年と比較すると年額1061円の増。高齢になると疾病が増えるのに令和4年10月1日から高齢者の窓口負担額が1割から2割に増えた。保険料負担も医療費負担も増やしている。

長生きが喜べるような政治に切り替えるべきと述べて反対とする。

賛成

藤本委員 後期高齢者医療の存在意義や仕組みのことについては、国の施策として高齢者の医療をどう維持していくかという観点で設定された制度。その制度にのっとっていく。その制度自体、間違いと思っていない。



3月定例会議
録画配信



3月定例会議
賛否

3月定例会議

3月4日～19日

¥

補正予算

町道除雪委託料増額補正

令和6年度予算

▼一般会計1208万6千円を減額し、予算総額を112億7395万5千円とした。

町道除雪委託料

6529万円

担い手確保・経営強化支援事業補助金

1729万円

戸籍システムの標準化対応の次年度延期に伴う減

△1738万円

日出生生活館建設実施設計の年度内実施見合わせによる減

△500万円

★質疑あり

その他の補正予算

▼栗山町国民健康保険特別会計

特定健診受診者数の実績見込みによる減額

△150万円

▼北海道介護福祉学校特別会計

暖房設備更新工事の入札執行残による減額

△48万円

▼栗山町介護保険特別会計

居宅介護サービス給付費の実績見込みによる減額

△520万円

▼栗山町後期高齢者医療特別会計

北海道後期高齢者医療広域連合負担金の確定によ

る減額

△1803万円

▼栗山町住宅団地造成事業特別会計

中里住宅団地第1期分譲地の草刈業務の入札執行残による減額

△44万円

▼栗山町工業団地造成事業特別会計

第4期及び第5期工業団地緑地草刈業務の入札執行残による減額

△4万円

▼栗山町水道事業会計

道営農地整備事業に係る配水管移設工事の事業費確定による減額

△1782万円

▼栗山町下水道事業会計

下水道管理センター機器更新工事費の確定による減額

△1億2383万円

質

疑

斉藤隆浩議員 日出生生活館の建設が1年ずれた理由と、1年ずれることによる影響は。

経営企画課長 建替の場

所について、町が示した候補地と地域の意向が合致しなかったことにより建設場所が定まらず、令和6年度は実施設計には至らなかった。令和7年度に予算に計上しており、他の事業には影響はないと考えている。



人事案件

▼公平委員会委員

令和7年3月24日をもって任期満了となる坂口由紀子氏を引き続き選任する。
任期…令和7年3月25日
～令和11年3月24日



賛否の公表

議 件 名	結果	齊藤	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤	端	藤本	鶴川
令和7年度栗山町一般会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和7年度栗山町国民健康保険特別会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和7年度栗山町後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/

可：可決 不：不採択 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権
※鶴川議員は議長のため採決に加わっていません。

役場の課の名称が一部変更

▼栗山町課設置条例の一部を改正する条例
各課の業務内容が町民等に分かりやすいものとなるよう、課の名称の一部見直しを行うとともに、一部グループにおいて、現行業務を踏まえた分掌事務の整理を行うもの。

【課名変更】

- ・「経営企画課」→「企画財政課」
- ・「若者定住推進課」→「定住推進課」
- ・「環境政策課」→「環境生活課」
- ・「産業振興課」→「農林課」
- ・「ブランド推進課」→「商工観光課」

【グループの編成の一部見直し】

- ・情報・DXグループ（総務課）
- ・広報・防災グループ（総務課）
- ・土木・管理グループ（建設課）
- ・建築・住宅グループ（建設課）

【その他】

- ・教育委員会事務局内に小中学校適正配置に係る専任の室を設置する
→「学校再編室」

議員の報酬の改定に関しても報酬審議会で検討可能へ

▼栗山町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

本審議会については、町長の諮問に応じ、町長、副町長及び教育長の給料の額並びに特別職報酬等の額の改定について審議する附属機関として設置されているが、議会の議員の議員報酬の改定に関しても、本審議会での検討協議を可能とする規定を明確化。



報酬が活動に見合った金額なのか、審議会でも慎重に審議される



規則・条例

3月定例会議では、全14件の条例の改正が提案されました。その中から2件を解説！



その他

▼第7次総合計画の一部変更について

政策区分1 生活環境、（2）環境・エネルギー

において、施策②生物多様性保全の普及推進を追加し、計画事業「生物多様性の保全を普及推進します。」を追加するもの。

▼令和7年度一般財団法人栗山町農業振興公社事業計画の報告

①農地流動化意向調査を行い、農業委員と連携し、積極的な農地流動化を図っていく。

②離農農地等を中間保有することで、担い手や新規就農者等への農地流動化を図っていく。

③意欲と能力の高い担い手の確保と、地域リーダーの育成を図るため、実践的かつ総合的な支援事業を実施していく。また、農家減少と担い手不足の課題解決に向けて、新規就農希望者や農地所有適格法人の雇用確保のため、農業農村体験や新規就農研修生の受入れを行うとともに、研修体制の充実を図っていく。

④農作業の省力化やコスト低減を目指し、ICT農業機械等の導入を引き続き支援していく。また、「スマート農業推進計画」を策定し、新たな支援策等についての検討を進めていく。

⑤農業農村振興に係る課題解決のため、地域を代表する農業振興推進委員会において検討協議し、栗山町、中山間地域等推進協議会並びに多面的機能推進協議会からの負担金に基づく農業振興事業を実施していく。

⑥北海道大学農学部による農業農村調査の受入れや地域懇談会の開催等、農業振興や農村の活性化に関わる取組を引き続き実施していく。



意見書

食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改定を求める意見書

1. 次期基本計画の改定にあたっては、食料自給率の向上に資する目標設定や、農業者が再生産可能な価格が形成される環境整備など、生産現場の意見に寄り添った農政を推進するとともに、農業予算を大幅に拡充すること。また、水田政策については生産現場の実情を十分配慮すること。

2. 酪肉近の改定にあたっては、酪農・畜産農家の生産意欲が向上する生産目標数量を設定し、目標の確実な達成に向けた生産基盤強化策などの施策を盛り込み、生産者が将来の展望を持てるようにすること。



ここが聞きたい

3 議員が一般質問

さいとう よしたか
齊藤 義崇 議員

Q1. 学校教育施策の今後の展望は

A. 町民や議会と議論を重ねて見出していく

Q2. 一般質問を総括して **A.** 要請活動に対する連携・協力を期待する

ほり ふみひこ
堀 文彦 議員

Q1. 役場職員の働き方改革、住民生活の向上に関わる DX 推進事業は

A. 各部所間で連携し、業務効率化を図っていく

Q2. ハサンベツ里山地区の電話回線（光回線）の早急な
インフラ整備の施工実施を
A. 早期整備に向けて協議を進めていく

しげやま まさよ
重山 雅世 議員

Q1. 学校等での自衛隊員の募集行為は **A.** 募集行為の事実はない

Q2. 加齢性難聴者の補聴器購入に助成を
A. 実態やニーズの把握し対応を検討していく

Q3. 学校給食費無償化を **A.** 今後も国の動向を注視していく



齊藤 義崇 議員



堀 文彦 議員



重山 雅世 議員

教育分野



齊藤義崇 議員

Q：学校教育施策の今後の展望は

A：町民や議会と議論を重ね見出していく

質問趣旨 小中学校適正

配置計画がまとまり、これを受け、今後の教育全般に関する方針、予算を含む改修規模、将来展望を伺うことを目的とした。

議員 小中学校適正配置計画も一般会議を経て決定された。将来人口の令和37年の推計値が総人口約5,000人、14歳未満350人であり、この人口推計などを考慮した、予算計画を含む長期ビジョンの計画が必須であると考える、次の3点について所信を伺った。

① 幼保、中学、高校、専門学校の一体的な教育の実施についての将来展望は。
② 学校校舎や付帯施設について、今後の方針、考え方、予算規模について伺う。
③ 近隣市町との学校教育分野全般の連携についての展望は。



子どもたちにとってより良い教育環境を

町長 ②令和9年度までに、学校統合の議論を集中して行い、施設整備の議論は、令和9年度以降とすべきと考えている。校舎の老朽化が進んでいることを踏まえ、詳細に校舎整備・大規模改修の手法、財源確保の見通し、施設規模の在り方など、調査検討を進める。

教育長 ①栗山町では小中学校、高校と北海道介護福祉学校の連携による、一貫した福祉教育を実践している。しかし未だ課題も多いことから、各学校での教育実践と評価の蓄積を行っているところである。より効果的な連携プログラムの策定に向けて、カリキュラムの深化を目指していく。

一般質問

Q：一般質問を総括して

A：要請活動に対する連携・協力を期待する

議員 議員任期2年で、通告事項の総数は62件となる。推察を加え、解析してみると、議員が見た行政サービス及び政策の充実を求める一般質問が多い。総括をし、政策反映するための課題とポイントを伺う。

町長 議会基本条例第6条に規定され、7つの政策形成過程項目を踏まえることが、基本であると考えている。オール栗山で、行政と議会が両輪となり、町政を進めていくことが、まちの振興発展に繋がると考えている。

引き続き、北海道教育委員会並びに空知教育局との連携強化を図り議論を深め、今後も「栗山と福祉」をテーマとした教育活動を通じて、持続可能な地域づくりに取り組むことができる、必要な知識と技術を兼ね備えた人材の育成を目指す。
③現時点で、学校教育全般という意味においてお示しできるものはない。子どもたちの学習環境の確立に注力し、広域的な

部分での将来展望については、子どもたちにとって最善の方策は何かを主眼に、町民や議会の皆様と議論を重ね見出していく。
感想 自分では、上手に質問できたと思っている。質問前に考えていた回答も、十分に得られた。とても重要な課題なので、会期が変わったのち、引き続き質問をしたと思う。



堀 文彦 議員

D X 推 進

Q：役場の働き方改革と住民生活の向上は

A：各部署で連携し業務効率化を図る



デジタル技術を活用し住民サービスの向上を図る

質問趣旨 役場の働き方改革の実効性とハサンベツ里山地区の危機管理体制の充実を図るため2点質問した。

議員 役場職員の働き方改革とDX推進事業の進捗状況は。

町長 「書かない窓口」の推進、役場職員の子育て支援策としてテレワークシステムの導入、電子決済の促進を進めている。一時的に職員の負担

が増えることは否めないが、DX事業の稼働により円滑な業務推進に繋がるものと考えている。

住民サービスの向上については、窓口のキャッシュレス化、オンライン申請・納付システムの導入、コンビニでの証明交付システムなど、国の指針に基づき計画を進めているが、当初の予定よりも経費がかさみ、町の財政状況を鑑みながら、事業展開を図っていく。

ハサンベツ

Q：インフラ整備の実施を

A：協議を進めていく

議員 ハサンベツ里山地区の光回線導入について、①緊急事態の対応②ICT学習の進化③ネイチャーポジティブ宣言の取組推進④管理事務のIT化の観点から早急に敷設すべきと考える。ネイチャーポジティブ宣言は、今後国のスタンダードモデルとなるため、栗山町から情報発信をするため早期の実現を求める。また、喫緊の課題として緊急対応時の対応が取れるよう、一時的な対応策を実施してほしい。

町長 光回線の有線化については、単純計算で600万から1000万以上の経費が見込まれているので、地方創生の交付金なども活用しながら、検討して行きたい。

教育長 ハサンベツ里山地区は、子どもたちの自然体験フィールドとして活用されてきたが、今後はネイチャーポジティブ宣言を契機に、新たなステージを迎える。環境整備が急務と考えているが、費用面を含めて効果的な早期整備に向け、協議を進めていきたい。

感想 役場の働き方改革については、DX事業導入完了後に住民サービスの低下とならない程度に、窓口の受付時間の変更も含めて、検討を願う。

ハサンベツ里山地区の光回線の早期敷設は、危機管理体制の充実の観点から早急な対応を願う。

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されております。ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

Q：学校での隊員募集行為は

A：募集行為の事実はない

自衛隊



重山雅世 議員

質問趣旨 学校を隊員募集の場にしてはならない
と
思
っ
て
質
問
。

議員 近年、自衛隊への志願者の減少が続く中、防衛省・自衛隊は志願者獲得を一段と強めている。市町村へ18歳、22歳の名簿・個人情報提供の提供を求めたり、小中学生も対象とした「子供食堂」での募集のパンフレット「海上自衛官募集」と書いたクリアファイルとボールペンを配布したり、自衛隊での職場体験や防災体験が行われている例が13道県78件あったと「しんぶん赤旗」に掲載された。

①学校等での自衛隊員の募集行為は。今後の方向性として自衛隊での防災・職場体験で武器や戦車に触らせたりしない考えは。

②自衛隊への名簿提供をめぐる「違憲訴訟」が行われている中で、個人情報

報である名簿提供の見解を伺う。

町長 名簿提供に関しては各自治体の判断に委ねられており、他自治体の動向など踏まえ、情報公開・個人情報保護審査会に諮り、今後の対応を判断する。



(陸上自衛隊 HP より引用)

教育長 募集行為の事実はないが募集案内が中学校宛に送られてるのは把握している。随時空知教育局と連携を図り対応する。校長時代、「一日防災学校」では自衛隊の防災関連車両のみを使用した。武器や戦車に触らせることは考えていない。

過去の「1日防災学校」では防災関連車両のみを使用

町長 聴覚機能の低下が見られる高齢者全体に関

補聴器

A..対応を検討していく

Q..加齢性難聴者に購入補助を

感想 弁護士の資料では、閲覧が法的には認められない。住基法に基づき個人情報管理し人権を守る事は「法定受託事務」ではなく、「自治事務」であること。また、

自衛隊は賭命義務・上官の命令に従う服従義務があるとの法律解釈を参考に質問した。外交防衛であつても直接栗山町の子供に関することなので今後の動向を注視する。

議員 学校給食費無償化を。

教育長 国において2026年度にまずは小学校から開始、中学校においてもできる限り速やかに始めると示されたところであり、今後も国の動向を注視していく。

わるものであり、国の公的扶助として制度化されるのが望ましい。医療機関への受診勧奨に努め、介護予防事業の充実を図る。

こんな質問もしました！

ギカイの見方 — 委員会レポート —

総務教育常任委員会・産業福祉常任委員会・広報広聴常任委員会では、毎年それぞれが所管する町政課題について調査を行っており、3月定例会議で調査の報告が行われました。

総務教育常任委員会

▼若者定住事業のパッケージプランとして考えられる施策と今後の展望について

暮らし体験事業については、多くの方に栗山町を体験してもらうことが重要である。既存の体験プログラムのみだけでなく、農業体験や商工業体験もできる工夫についても今後検討願う。また、近隣市町の企業の従業員並びに他市町村から栗山町に就業している方々への定住促進への周知についても引き続きの取り組みを願う。

今後においても移住に結びつかなかった際には、その要因を分析することで、栗山町には何が不足しているか等、関係各課へフィードバックし、今後の事業展開に繋げていくことを希望する。

▼学校教職員の働き方改革の実効性に向けた部活動の地域移行の取組みについて

広域の部活動での責任の所在や保護者への経済的負担については、国や道を含めて補助金の有無なども併せて地域において差がないよう広域の担当者会議で協議を願う。

さらには、教職員の負担減のためには、指導者のライセンス更新時の助成や教育委員会のサポート体制が必要と考える。また、地域での指導者確保についても関係課と協議しながら取り組み、子どもたちが不利益とならないよう協議・推進することを望む。

▼介護福祉学校で行われている高専連携の実態と課題、今後の展望について

文部科学省からの委託事業により、福祉教育を通して栗山高校の生徒の

豊かな人間性を育む人材育成を実現していると評価したい。

また、栗山高校での「栗山と福祉」という特色ある授業を行っていることで、学区を広げて生徒募集ができ、また、福祉に興味を持つ栗山高校の生徒が介護福祉学校へ進学する道を構築することになれば、介護福祉学校の入学者増も望める。

これからも本事業の主旨である「地域の中で活躍する人材育成」を行っている北海道介護福祉学校の取り組みが広まるよう、本事業が終了しても引き続き取り組んでいくことを願う。

▼社会教育の施設の老朽化に伴う施設の統廃合に関する実態と課題、今後の展望について

社会教育課が所管している施設は公共施設等総合管理計画では長寿命化

を図る計画であるが、老朽化が進んでいる施設が多数あり、現実的には難しい施設がある。施設の存廃については、利用人数や耐用年数、修繕に係る経費が取得価格を超える場合などで、存廃の根拠を数字で決められるよう一定の基準を作成すべきと考える。

また、必要な修繕については、施設の統廃合も視野に入れながら修繕を決定していると考え、利用者の安全確保の観点から、可能な限り実施することを検討願う。



総務教育常任委員会の様子

▼栗山煉瓦創庫くりふとの現状と課題について

令和5年度、令和6年度についても来館者数は目標数値を達成していることは評価したい。今後も来場者数が伸びている近隣の観光施設等の運営を参考にするなどし、更なる来場者数の増加を期待する。

ファブラボ栗山については、次世代を担う子ども達にも認知される取り組みを教育委員会をはじめ関係各課とも協議・検討し、推進願う。今後においては、観光振興計画を早期に策定し、関係各団体と協力し、本町の関係人口を創出する観光交流拠点の施設としての機能が十分発揮されるよう望む。

産業福祉常任委員会



現地視察（栗山煉瓦創庫くりふと）

▼ゴミ処理体制の実態について

道央廃棄物処理組合の維持管理費の負担金を圧縮するためには引き続き焼却量の減量化が課題となる。各家庭での生ごみの水切りによる減量化、プラスチックの分別の徹底やコンポスト容器や生ごみ処理機の購入費補助事業についても啓発に取り組みたい。

今後、整備予定のリサイクルセンターは、整備時期が予定より遅れてはいるが、メリット・デメリットを考慮し、最善な整備となるよう慎重に検討することを望む。

広報広聴常任委員会

▼くりやま議会だよりの発行と広報機能の充実について

手に取って読みたくなる議会だよりを目指し、表紙のデザイン、2色印刷の色を変更するなどのリニューアルを行った。また、今年度の表紙の写真は「栗山で頑張っている人」をテーマに取り組み、裏表紙にはその方を「輝く！栗山人」としてクローズアップした。

広報機能の充実としてコミュニティFMを活用し議会定例会議及び議会報告会の予定を発信した。また、先進地視察で学んだ内容を参考にし、ホームページの議員名簿のページから過去の一般質問の録画配信や会議録等に進めるようにリンク設定をし、利便性の向上を図った。今後も、読みやすい議会だよりになる

よう継続的にリニューアルに取り組んでいく。併せて、SNSや動画を活用した情報発信については引き続き調査研究し、広報機能の充実を図っていくこととする。

▼議会広報・広聴機能の充実について

議会報告会については、町政に対して、民間バス路線廃止に伴う交通手段などの意見が出された。また、議会に対する意見については、議員全員で情報の共有を行った。なお、町民から聴取した意見の中から行政に対する提言を行う予定であり、これからも広聴活動の重要な手段として、議会報告会と出前報告会を継続していくこととした。

今後においても、町民と対話する場面を確保するため、調査・研究を続けていく。

開催決定!!

NEO 議員の学校

2023年(令和5年)2月～3月に開催いたしました「議員の学校」が、2025年(令和7年)に「NEO 議員の学校」と進化し、開催することが決定しました。

前回の開催内容を見直し、さらに充実した内容となっています。申し込みの詳細は町広報7月号(7月1日発行)をご覧ください。

<目 的>

議員の後継者育成として議会や議員に関心や志のある町民等を発掘・育成し、もって、議員のなり手不足の課題の解決に向けた一助として取り組み、また、幅広い世代への総合的な主権者教育を推進し、町民の議会への関心と理解を深めるために議員の学校を開校する。

<参加対象>

- ① 25歳以上の栗山町議会議員を目指している方、または、関心のある栗山町民(定員15名)
- ② 近隣市町の議員を志す方(若干名)
- ③ 栗山町議会モニター

<募集期間>

令和7年7月1日(火)～31日(木)

<開講期間>

開校式 令和7年8月中旬 ～ 修了式 令和8年8月上旬 予定



前回の「議員の学校」の様子



1月臨時会議
録画配信



1月臨時会議
賛否

1月臨時会議

1月15日

1月臨時会議では補正予算、条例改正が提出され、すべての議案が可決されました。

¥

補正予算

「くりやま暮らし応援商品券発行事業」

補助金増額補正

▼一般会計

2億8687万3千円を追加し歳入歳出の総額をそれぞれ112億8604万1千円とした。

▼くりやま暮らし応援商品券発行事業

6110万円

▼栗山町住国民健康保険特別会計

療養費の実績見込による追加 92万円

▼北海道介護福祉学校特別会計

本年度の人事院勧告による給与改定に伴う追加 90万円

▼栗山町介護保険特別会計

本年度の人事院勧告による給与改定に伴う追加 36万円

▼栗山町水道事業会計

本年度の人事院勧告に伴う給与費及び法定福利費の実績見込みによる追加 275万円

▼栗山町下水道事業会計

本年度の人事院勧告に伴う給与費及び法定福利費の実績見込みによる追加 38万円



規則・条例

1月臨時会議では4件の条例改正が提案されました。その中から1件について解説！

▼栗山町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告において、期末勤勉手当の支給率を引き上げとの勧告がなされ、これを踏まえ本町でも条例を改正。施行日は、令和7年4月1日とする。

質

疑

重山議員 なぜ一般職員と同様に令和6年4月に遡及しないのか。なぜそのような差別をするのか。

討論

反対

賛成

総務課長 会計年度任用職員の給与関連条例の定めにより、人事院勧告の給与改定の効力を翌年4月1日から適用することとしている。人事院勧告はマイナスの勧告もある。そういうことも踏まえて遡及はしないという考え方で進んでいる。

重山議員 会計年度任用職員の給与についても、一般職員と同様に令和6年4月に遡及すべき。実際に遡及している自治体もある。報酬、手当の部分に対して差別を与えるべきではない。

齊藤義崇議員 会計年度任用職員制度の導入にあたって条例について審議をした時に充分適正に審議し、運用されている。



賛否の公表

議 件 名	結果	齊藤(義)	置田	重山	大櫛	堀	鈴木	佐藤	齊藤(隆)	端	藤本	鶴川
議案第59号 栗山町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/

可：可決 不：不採択 ○：賛成 ×：反対 一：棄権 ※鶴川議員は議長のため採決に加わっていません。

議員の出席簿

(令和6年1月～12月)



	本会議		常任委員会					議会運営委員会 ※1	各特別委員会 ※3	その他 ※4	合計			
	定例会議	臨時会議	総務教育	産業福祉	広報広聴	広報小委員会	広聴小委員会				会議日数	出席日数	欠席日数	出席率
齊藤 義崇	11	4	5	9	6	-	5	18	13	28	105	99	6	94.3%
置田 武司	14	3	4	-	7	11	-	-	11	23	79	73	6	92.4%
重山 雅世	14	4	-	9	7	-	6	-	13	22	76	75	1	98.7%
大櫛 則俊	14	4	-	8	7	13	6	-	12	23	89	87	2	97.8%
堀 文彦	14	4	5	-	7	12	-	18	13	23	97	96	1	99.0%
鈴木 千逸	14	4	-	9	7	-	5	18	13	29	100	99	1	99.0%
佐藤 則男	14	4	4	-	7	12	6	18	13	23	103	101	2	98.1%
斉藤 隆浩	14	4	-	9	7		5	18	13	23	94	93	1	98.9%
端 師孝	14	4	-	8	7	13	-	17	13	29	107	105	2	98.1%
藤本 光行	14	4	4	-	6	13	-	-	9	29	81	79	2	97.5%
鵜川 和彦	14	4	5	-	-	-	-	18	-	27	68	68	0	100.0%

※1 正副議長（鵜川議長、齊藤義崇副議長）は、議会運営委員会には委員ではなくオブザーバーとして出席

※2 藤本議員は監査委員のため、決算審査特別委員会の委員ではない

※3 各特別委員会は、予算審査、決算審査、中長期財政問題等調査、報酬に関する調査

※4 その他は全員協議会、議会改革推進会議、議会報告会、一般会議

政務活動費収支一覧 (令和6年4月～令和7年3月)

政務活動報告 QR



政務活動は、議員の政策調査研究等の活動です。すべての出張報告書や活動に関する領収書などは、議会HPで公開しています。

(単位：円)

番号	議員氏名	交付決定額	政務活動に要した対象経費					交付金 残 額
			調査研究費	研 修 費	資料作成費	資料購入費	合 計	
1	齊藤 義崇	240,000	80,527	125,670		77,494	283,691	0
2	置田 武司	240,000		15,000	2,020	13,634	30,654	209,346
3	重山 雅世	240,000		94,940		30,600	125,540	114,460
4	大櫛 則俊	240,000				25,756	25,756	214,244
5	堀 文彦	240,000	110,780	109,790		35,530	256,100	0
6	鈴木 千逸	240,000	13,147	11,000		170,985	195,132	44,868
7	佐藤 則男	240,000				24,228	24,228	215,772
8	斉藤 隆浩	240,000				28,820	28,820	211,180
9	端 師孝	240,000	13,147	109,056		65,137	187,340	52,660
10	藤本 光行	240,000	40,647			11,160	51,807	188,193
11	鵜川 和彦	240,000	10,592	117,257		85,972	213,821	26,179
合 計		2,640,000	268,840	582,713	2,020	569,316	1,422,889	1,276,902

議会報告会

あなたの声が町を動かす

意見・要望を町長に提言

令和7年2月2日から2月14日までの日程で、町内14会場において議会報告会を開催し、延べ243名の町民の方々に参加いただきました。

報告会においては、数多くの意見が出され、これらの意見や要望は広報広聴常任委員会においてまとめを行い、提言書として、鶴川和彦議長から佐々木学町長へ手渡ししました。

提言書の概要

①バスの運行について

町営バスデマンド区域において、発車時刻、乗

②避難経路について

錦地区から指定避難所に避難するためには、現在アンダーパス及び跨線橋を通る必要がある。災

降場所等が運転者によって異なることがある。町民が安心して利用できるよう統一してもらいたい。また、町民の利便性向上を考え、他の公共交通機関との乗り継ぎを考慮した運行や土・日曜日の運行の検討、また、栗山高校への通学手段として、民間バス会社も含めより利用しやすいダイヤについて検討してほしい。

③角田地区での買い物について

害時、どちらも通行できなくなる可能性があるため、避難経路として線路を横断できるようにJR北海道と協議を進めてもらいたい。

現在、角田地区において食料品や日用品等を買うことができる店舗がないため、住民は不便や苦勞を感じている。角田地区でも買い物できるような対策を検討願う。



議会報告会 QR

提出した提言書や実施結果（参加人数）、当日配布した資料は、議会HPで公開しています。

町への要望と回答

Q：高齢化等により町内会運営が難しくなっている。町内会区域再編支援制度について、進捗状況を教えてほしい。

A：現在、本支援制度の構築には至っていない。



鶴川議長から佐々木町長に提言書を手渡しました（3月31日）

本町では、平成20年から平成27年までに10地区において、「まちづくり協議会」が設立されているので、まずは、そちらの活動を通じての課題や単位町内会における課題など、また、支援制度のあり方についてのご意見などもお聞かせいただく機会を設けさせていただきたいと考えている。その上で、地域のニーズにこたえられる支援制度を構築するよう、早期に取り組んでいく。

Q 町からの給付金の申請文書について、文字の大きさや文面等、町民にわかりやすいように配慮してほしい。また、申請漏れ等あった場合は、個々に対応を工夫してほしい。

A 令和6年度については、物価高騰による負担増を軽減するための経済的支援として、非課税世帯等に給付金支給事業を実施した。

申請文書については、国から示された様式を参考としており、「世帯主氏名」、「電話番号」等については色付けをし、可能な限り町民の皆様に分かりやすく案内をさせていただいている。

今後も、文字の大きさや分かりやすい表現を心掛けるとともに、個別に申請勧奨を行うなど、適宜丁寧に対応していきたいと考えている。



松栄団地集会所

Q コンポスターの設置指導や講習会を開催してほしい。

A 生ごみを処理する堆肥化容器については、設置方法など町広報で周知する。講習会については容器等の準備が必要なことから、販売店若しくは製造元と協議し、検討する。

Q 継立神社下の町営住宅跡地の活用の予定について教えてほしい。

A 継立団地（平屋）については、老朽化に伴い、防災及び防犯の観点から、令和6年に解体した。神社下の跡地を含め、今後の活用については、現在未定となっているが、地域の要望等も伺い、地域振興に役立てられるよう検討していきたいと考えている。

Q 継立地域の通学路の歩道で、長靴に雪が入るくらい積もっても除雪が入らないことがある。また、栗山中学校付近の歩道の除雪について、幅が狭く1列でしか歩けないので広く除雪をしてほしい。

A 継立地域の通学路の除雪については、夜間パトロールを実施し、除雪の判断をしているが、深夜から早朝にかけて降雪があった場合、通学時間帯の除雪を避けるため、除雪を見合わせることもあった。また断続的に降り続けている場合も同様に除雪を見合わせる場合もあることから、地域並びに、通学児童の皆様にはご理解とご協力をお願いしたい。

栗山中学校付近の歩道については、歩道の幅員が狭く、除雪幅の広い歩道用ロータリを使用すると縁石を脱輪し横転する危険性があることから、除雪幅の小さい歩道用ロータリを使用している。今後は路肩に寄せられた雪を排雪するなどの対応を検討し、歩道の確保に努めていく。

全国の議会が栗山町へ

栗山町議会では全国から視察研修を受け入れています

令和7年2月12日（水） 三笠市議会議会運営委員会
議会改革とICT推進小委員会



三笠市議会のみなさんと



南部公民館

栗山町で頑張っている人をクローズアップ

輝く栗山人！

Vol. 5 まる やま ひで こ さん
丸 山 秀 子 さん

6月定例会議の開会日

6月11日～

議会の予定

6月 9日(月) 議会運営委員会

6月 11日(水) 6月定例会議

～ 13日(金)

※全て9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴は議会活動にふれる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。

会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまざかいだよりNo. 183

2025年(令和7年)5月1日発行

発行/北海道栗山町議会

編集/広報広聴常任委員会

(広報小委員会)

委員長/佐藤則男 副委員長/大槻則俊

委員/置田武司 堀文彦 端師孝 藤本光行

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/gikai>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷/山東印刷株式会社

「ハムスターと一緒に栗山町のイマを発信中!？」

昨年開局した「エフエムくりやま」でパーソナリティをしております、丸山秀子です。

美唄市出身、栗山町育ちの生粋の栗っ子です。札幌市で長らくインターネット通販業界に属していましたが、コロナ禍に栗山町へUターン移住しました。その際にエフエムくりやまの立ち上げを知り、町内で防災士として活動する母に刺激を受けて、私も防災に興味があったため、エフエムくりやまで防災の情報を伝えたく、未経験ながらもパーソナリティに立候補しました。現在、人はもちろんペットの防災や救急の勉強をしております。

私はエフエムくりやまで主に、お昼の「ぎゅぎゅっと」、夕方の「こちら!くりふと情報局!」を担当しております。防災情報はもちろん、趣味や好きな音楽(特に2010年代～最新の邦楽・洋楽が好きです)についても発信中です。そして他にも「ぺちぺち工房」という名前でハンドメイド作家として、「くりやまクリエイターズマーケット」や全国のイベントに出店中です。ハムスターが店長と店員をしております(!?) エフエムくりやまでも、毎週火曜日の夕方4:55から「楓店長のぺちぺち散歩」という番組を担当しております。恐らく世界唯一のハムスターパーソナリティ番組ですので、どんな風にハムスターが喋っているのかお聴きいただけたら嬉しいです!

栗山町内を歩いたり、くるりん号に乗ったりしておりますので、見かけたらお気軽にお声がけください!



★今回の

「輝く栗山人!」は、エフエムくりやまでパーソナリティとして活躍されている、丸山秀子さんです。ぜひ、お聴きください!